

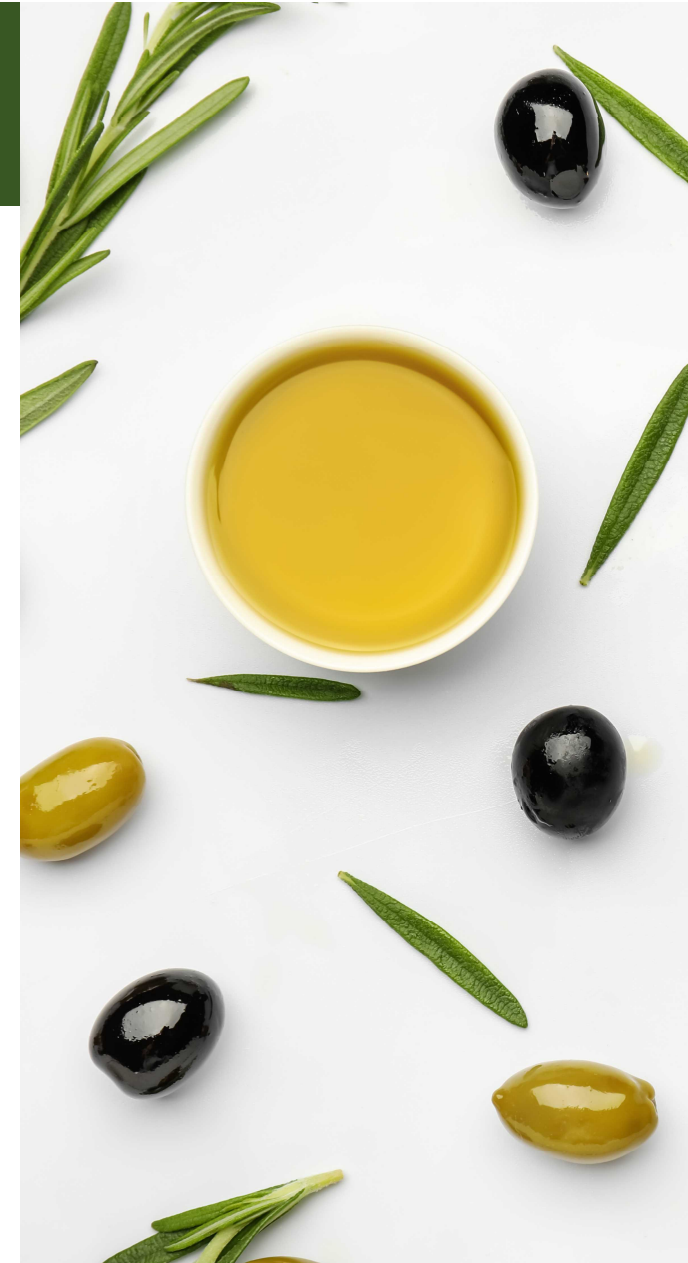
ヤコブ
の手紙
5

「コラージュ信仰
から脱却しよう」

ヤコブの手紙 5章 切り貼りではない信仰の祈りを

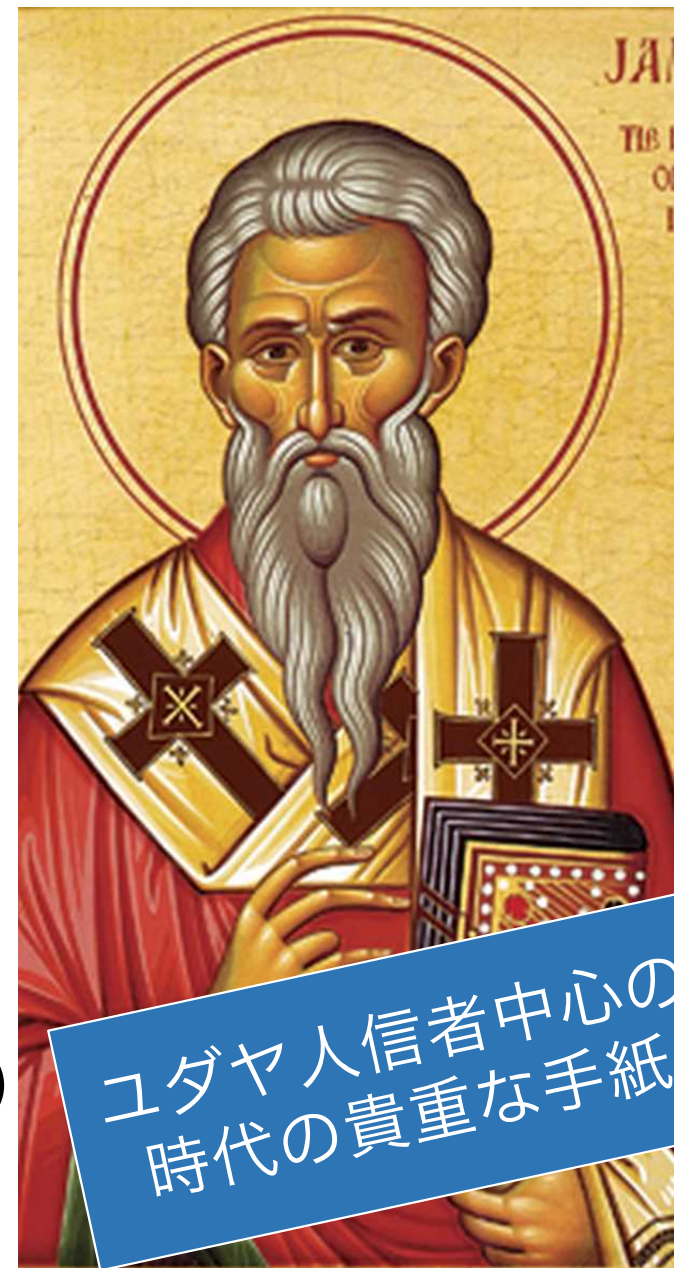
アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 不正な金持ちへの裁き 5章1～6節
- II. 苦難と忍耐 5章7～9節
- III. 兄弟姉妹への励まし 5章11～20節
- IV. まとめと適用
切り貼り信仰から抜け出そう



【ヤコブの手紙とは？】

- **著者** …イエスの**実弟ヤコブ**。
(12使徒のヤコブとは別人!!)
- **年代** …45～49年頃。**エルサレム会議前**か。
- **場所** …**エルサレム**か。
- **内容・目的** …公に読まれた**共同書簡**。
信仰と行いの一致を促す。
- **対象** …**離散のユダヤ人**(ディアスポラ)の
ユダヤ人信者(メシアニック・ジュー)
→**まだ救われていない同胞ユダヤ人も念頭に!**



ユダヤ人信者中心の
時代の貴重な手紙

【ヤコブの手紙が書かれた時代背景】

- イエスの昇天後、15～20年。
二度の**大迫害**により、散らされていった弟子たち。
★福音は、**エルサレム** → **サマリア** → **異邦人**へ
- この時代の教会のメンバーの中心は、**ユダヤ人**。
 - ① **生粋のユダヤ人**
 - ② **離散のユダヤ人** (ディアスポラ)
 - 海外生まれ。国際人。ギリシャ語が堪能。
熱心な人々は律法を遵守。エルサレムを巡礼。
- 対象は、多数になっていた、② **離散のユダヤ人**。
 - イエスをメシアとして信じて救われた者たち。
 - 律法主義やギリシャ文化から抜け切れない者も。



【離散のユダヤ人とギリシャ文化の影響】

■ ギリシャのアレクサンダー大王による支配(前333年)以降、ローマの支配(前63年)に至るまで、**ギリシャ文化**の影響が拡大！

■ ギリシャ文化の特徴(極めて**世的**)

★**多神教** …ギリシャ神話の神々。偶像礼拝。

★**人間中心主義** …ギリシャ哲学。古代オリンピック。

★**霊肉二元論** …肉体と精神を別々に捕らえ、
精神は肉体より優れていると考える。

← **一神教**

← **神中心**

← **一元論**

聖書的価値観

■ ギリシャ文化の影響は**離散のメシアニックジュー**にも及んだ。

教理的最大の問題は、メシアの受肉の否定!!

【使徒の時代とヤコブの手紙】

イエスの昇天



聖霊降臨①



【ユダヤ人伝道】

聖霊降臨②

ステファノの殉教・大迫害



【サマリア伝道】



聖霊降臨③

サウロの回心



【異邦人伝道】



聖霊降臨④

ヤコブの殉教・迫害

伝道旅行①

エルサレム使徒会議

伝道旅行②

伝道旅行③

パウロの逮捕・監禁

パウロのローマへの護送・難破

【ローマ伝道】

さらに世界へ

パウロ (15年間)

ペテロ (15年間)

【対句法のいろいろ】

■ 対句法とは、“似た言葉、文を並べて印象づける方法”

★ 聖書では、一つの真理に**多面的**に光を当て、
立体的に浮き上がらせる絶大な効果が!!

→ 旧約聖書で多用。新約聖書でも引き継がれる。

ヤコブ書でも
多用!

① 一般的対句法 $A, A', A'', A''' \dots$

$A = B, A' = B'$

② 交差対句法 $A = B, B' = A'$

③ 対照対句法 $A, B, C, = C', B', A'$

一つの真理を
多面的に解き明かす
聖書全体が
対句法とも言える



I. 不正な金持ちへの裁き 5章1～6節

【金持ちへの宣告】 ヤコブ5:1

金持ちたち*よ、よく聞きなさい。迫り来る自分たちの不幸を思って、泣き叫びなさい。

*ルカに11回。ヤコブは5回。黙示録に4回。

- 当時のユダヤ人は、**金持ち**であることは、信仰深さへの**神の祝福の結果**と考えていた。
- ➔ ユダヤの宗教指導者、パリサイ人、サドカイ人、律法学者は金持ちだった。
- イエスは、この価値を逆転させた。
金持ちの救いは、ラクダが…。(マタ18:25)



【裁きを招く不正な富】 ヤコブ5:2~3

あなたがたの富は腐り(A)、あなたがたの衣は虫に食われ(A')、あなたがたの金銀はさびています(A'')。そのさびがあなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財を蓄えた*のです。

*いずれも完了形。神の目には、すでに実現している。

■問題は、富を神のために用いなかったこと。

裁かれる悪い僕 …タラントのたとえ(マタイ25:26)

*「天に宝を積む」の反対。➡裁きの材料を積み上げた。



マタイ福音書6:19～21

「自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。

自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

あなたの宝のあるところ、そこにあなたの心もあるのです。」

【不正な金持ちへの裁き】 ヤコブ5:4~5

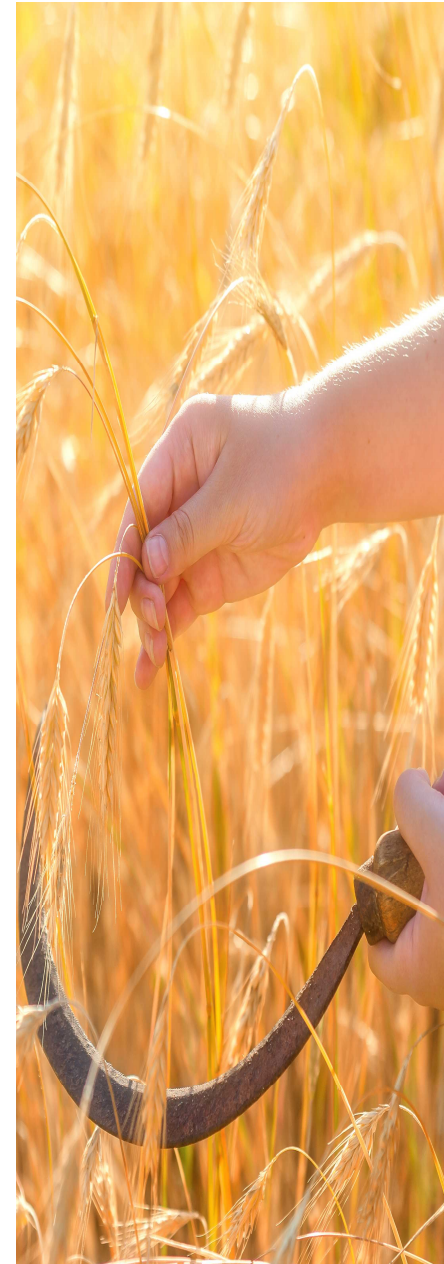
見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。刈り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。

あなたがたは地上でぜいたくに暮らし、快楽にふけり、屠られる日のために自分の心を太らせました*。

*不正を憎む神は、労働に報い、必要を満たされる。

➔ どう園の労働者への報酬のたとえ(マタイ20:1~16)

*屠殺 = 裁きのイメージ。…エゼキエル39:19 『集まって来い。わたしがおまえたち のために屠るわたしのいけにえに、イスラエルの山々の上での大いなる祝宴に、四方から集まれ。おまえたちはその肉を食べ、その血を飲め。』



【最大の罪】 ヤコブ5:6

あなたがたは、**正しい人***を不義に定めて殺しました。
彼はあなたがたに抵抗しません。

*正しい人(単数形)

→クリスチャンの殉教者たちも含まれるだろうが、
第一義的には、**メシア、主イエス・キリスト**。

■イスラエルの金持ちたち、祭司、王族、議員、
律法学者、パリサイ人、サドカイ人が、
イスラエルのメシア、イエスを十字架にかけた。



Ⅱ. 苦難と忍耐 5章7～9節



【主を待ち望め】 ヤコブ5:7~8

ですから、兄弟たち。主が来られる時*まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨*が降るまで耐え忍んで待っています。

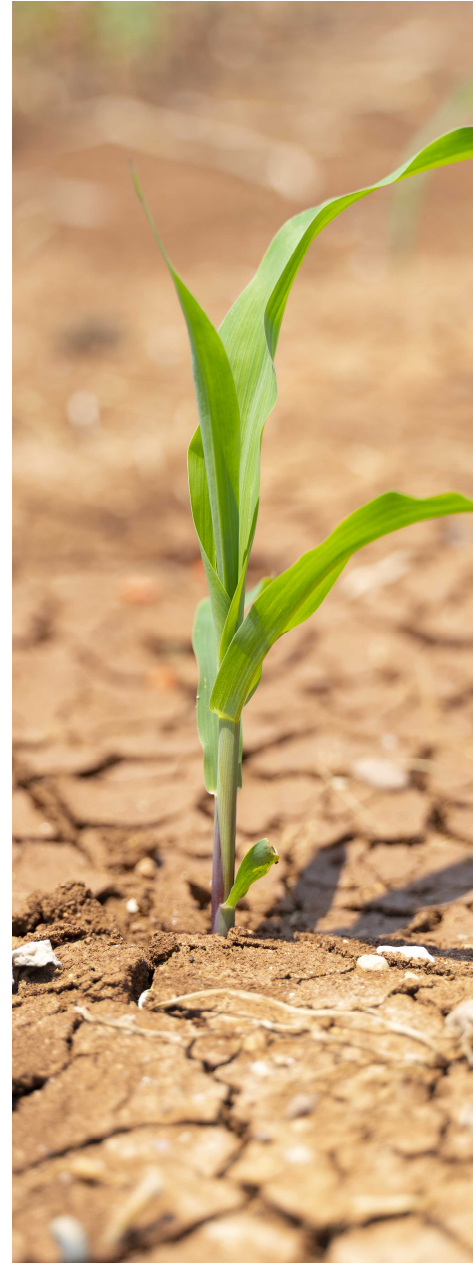
あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主が来られる時が近づいているからです。

*雨期の最初の雨(11月頃)と最後の雨(3月頃)

*信者が待ち望むべきは、主による携挙(空中再臨)

■乾期の後に必ず雨期が来るように、主は来られる。

信仰者の忍耐を支えるのは、確かな神の約束。



【信者の備え】 ヤコブ5:9

兄弟たち。さばかれることがないように、互いに文句を言い合うのはやめなさい。見なさい。**さばきを行う方が戸口のところに立っておられます***。

＊**携拳**は、使徒の時代からずっと差し迫ったこと。

➔いつ起こってもおかしくない。

■信者は携拳の後、**キリスト御座の裁き**を受ける。

➔信者の報償を決定する裁き。



【苦難と忍耐の報い】 ヤコブ5:10~11

兄弟たち。苦難と忍耐については、主の御名によって語った預言者たちを模範にきなさい。

見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐*のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。

*ヨブは主にしがみつき続け、信仰を認められた。

➡以前よりもはるかに勝る恵みを与えられた。



【誓ってはならない】 ヤコブ5:12

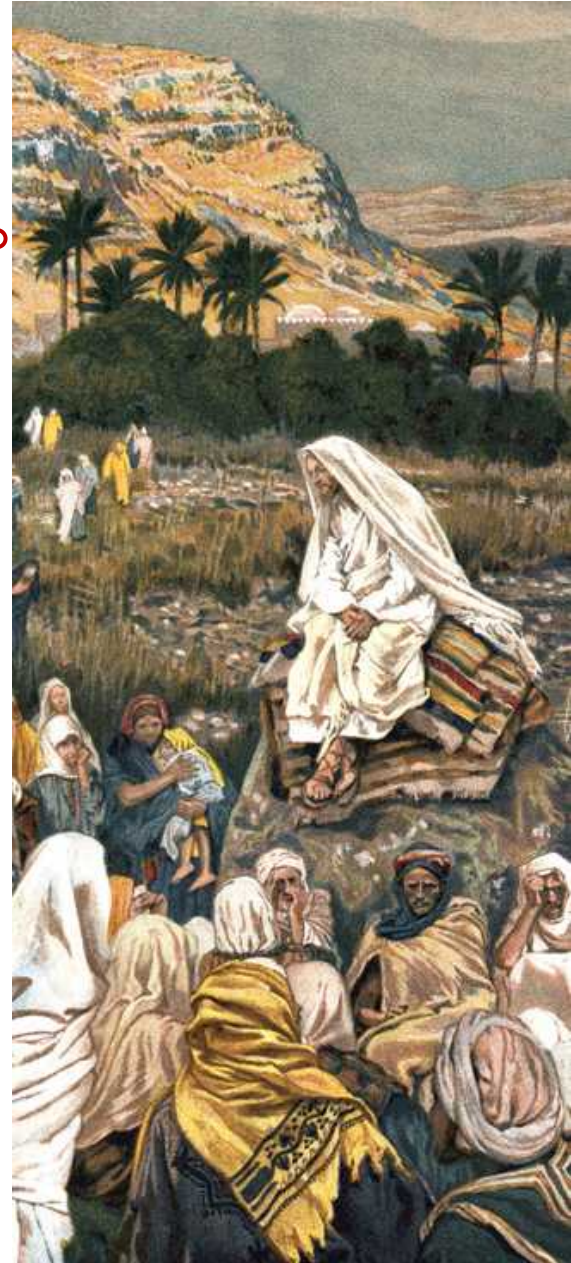
私の兄弟たち。とりわけ、誓うことはやめなさい*。
天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても
誓ってはいけません*。あなたがたの「はい」は
「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。
そうすれば、さばきにあうことはありません。

*イエスは、誓ってはならないと告げた。

■天も地も自分の身も、すべては神の所有。

人がかけて誓うことはできない。(マタイ5:33~36)

■求められるのは、主への真っ直ぐな従順のみ。



マタイ福音書 5:37

あなたがたの言うことばは、『はい』は『はい』、
『いいえ』は『いいえ』としなさい。
それ以上のことは悪い者から出ているのです。



Ⅲ. 兄弟姉妹への励まし 5章13～20節

【見上げるべきはいつでも主】 ヤコブ5:13~14

あなたがたの中に苦しんでいる人(A)がいれば、その人は**祈りなさい(B)**。喜んでいてる人(A')がいれば、その人は**賛美しなさい(B')**。あなたがたのうちに**病気の人(A'')**がいれば、教会の長老たちを招き、**主の御名によって、オリーブ油を塗って* 祈ってもらいなさい(B'')**。

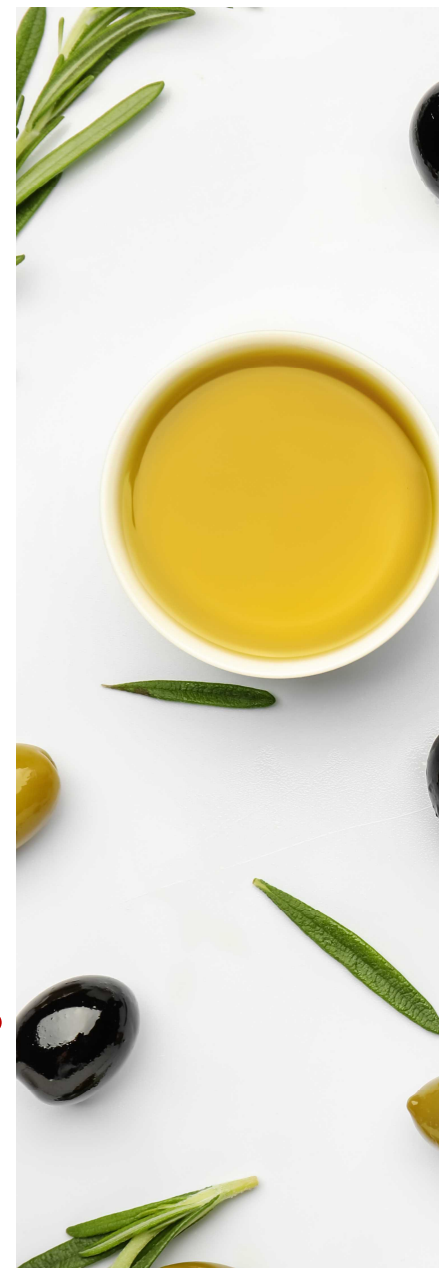
■ 苦しみの時も、喜びの時も、病気の時も、

→ 見上げるべきは、**主イエスのみ**。

■ 弱っている人に寄り添い、祈るのが主にある兄弟姉妹。

*オリーブ油は、当時、民間医療で一般的に常用。

→ クリスチャンには、**聖霊の象徴**でもある。



【信仰による祈りの力】 ヤコブ5:15

信仰による祈りは、病んでいる人を救います(A)。主はその人を立ち上がらせてくださいます(A')。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます(A'')。

■救う(A) = 立ち上がる(A') = 罪を赦される(A'')

→信仰による祈りがもたらすもの。

『あなたの信仰があなたを救った』イエスの言葉。

→主イエスへの全き信頼が、真の救いをもたらす。
(※この箇所では肉体の癒やししか見ないのは歪みすぎ)



【祈りの力】 ヤコブ5:16

ですから*、あなたがたは癒やされるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。**正しい人の祈り***は、働くと大きな力があります。

*前の文脈から、“罪が病気の原因である場合”

➡対処はシンプル。罪を言い表し、祈る。

***主の御心に適った祈り**には、力がある。



【エリヤの祈り】 ヤコブ5:17

エリヤは私たちと同じ人間でしたが*、雨が降らないように熱心に祈ると、三年六か月の間、雨は地に降りませんでした。それから彼は再び祈りました。すると、天は雨を降らせ、地はその実を实らせました。

*ここでも重要なのは、**御心に適った祈り**だったこと。

■大干ばつでも、エリヤは神に養われ、守られた。

■エリヤは、偶像礼拝者に勝利し、恵みの雨が降った。

■イスラエルに残された真の信仰者と出会わされた。

(※エリヤの生涯をパッと思い浮かべられないと、ヤコブの説教の真意を受け取り損なう。)



【ヤコブ書の目的】 ヤコブ5:19～20

私の兄弟たち。あなたがたの中に真理から迷い出た者(A)がいて、だれかがその人を連れ戻す(B)なら、

罪人(A')を迷いの道から連れ戻す(B')人は、罪人のたましい(A'')を死から救い出し(B'')、また多くの罪をおおうことになるのだと、知るべきです。



知りなさい。罪人(A')を迷いの道から連れ戻す(B')人は、罪人のたましい(A'')を死から救い出し(B'')、そして、多くの罪をおおうことになるのです。

【ヤコブ書の目的】 ヤコブ5:19~20

私の兄弟たち。あなたがたの中に**真理**から迷い出た者(A)がいて、だれかがその人を連れ戻す(B)なら、**知りなさい**。罪人(A')を迷いの道から連れ戻す(B')人は、罪人のたましい(A'')を死から救い出し(B'')、そして、多くの罪をおおうことになるのです。

- **真理**…ナザレ人イエスこそ罪を贖われたメシア。
- イエスがメシアであるという**真理**を外れた同胞を立ち返らせることが、メシアニックジューの使命。
- ユダヤ人の一人の罪人に福音を伝え救いに導くなら、その一人を通してさらに多くの人が救われる。





III. まとめと適用 コラージュ 切り貼り信仰から抜けだそう



【切り貼りの信仰か。一体化した信仰か】

- ヤコブ5:14,16だけを抜き出して、肉体的癒やしを強調する人々…。それが、いかに的外れか。全体の学びを終えて改めて強く感じる。
- ヤコブ書の背景にあるのは、二つの価値観の対決。
 - ★ギリシヤ的、世的価値観に立つ、**切り貼り**の信仰か。
 - ★ヘブル的、聖書的価値観に立つ、**一体化**した信仰か。
- **聖書の全体をつかめ**というヤコブ書を、都合のよい**切り貼り**で解釈するのは、意に反した**最悪**の読み方。

好き勝手な切り貼りばかりのコラージュ信仰から脱却しよう!!

【一体化が、聖書を読み解くキーワード】

- 信者が受けるバプテスマの一番の意味は、キリストとの**一体化**。
- 福音がもたらす救いとは、心、体、魂、すべての**完全な回復**。
- 再臨の主イエスがもたらす究極的回復は、すべて**一体化した世界**。
神は一つ。光は一つ。天地は一つ。都は一つ。
すべての信者は、主の栄光の内に完全に一つ。

聖書が求める信仰は、心と体、思いと行動、当然一つ。

【当たり前を当たり前できない人の罪】

- ヤコブの主張は、極めて当たり前。**信仰と行いは一致する。**
行動ばかり、肉体の癒しばかりを強調するのがいかにおかしいか。
- **主の御心に適う祈りは、必ずなる。** 当然すぎる祈りの大原則。
熱心に祈れば癒やされるなどという、利己的、魔術的、呪術的、
罪に歪められた信仰から脱却せよとヤコブは迫る。
- キリスト教界はなぜ、複雑怪奇なことになっているのか？
自分の欲望に都合良く、シンプルな**真理をねじ曲げるのが罪人。**

【ごくごくシンプルな信仰の大原則に立ち返ろう】

■ 御心に適った祈りは、必ず叶えられる。

この人に福音を告げる機会をくださいという祈りは必ず聞かれる。

■ 告げ知らせるべきは、**主イエスの十字架の贖いと葬りと復活の福音。**

福音を信じて救われ、信じ続ける中で信者は成長させられていく。

■ 一つの行いは、信仰の成長の一つのあかし。

行いの実を結んでいるか。私の信仰は成長しているか。問われる。

福音を信じて救われ、信じ続けて成長していこう。

- 「天のお父さま。わたしは、み子イエス・キリストが、
- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがなう)うために十字架で死に、
 - ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
 - ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信じます。

主の御心にかなう祈りは、必ず実現しますから、
さらに深く、聖書の真理を学び、知っていくことができますように。
ただ福音を信じて救われた私です。

主を信頼し続けることによって、行いの実を結ばせてください。
御言葉をたずさえ、証し人として世に遣わしてください。
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」



バイブルスタディ

★次回予告：2021年8月17日(火) 午前10時より

「コリントの手紙第一 1章」

★Zoomでの分かち合いのコーナーも!!

11時10分くらいから、分かち合いの時間を持ちます。

★今後の予定：8/17(火)、8/31(火)、